

2018年(平成30年)12月29日(土曜日)

松毛川の森保全へ 土地購入にめど

三島のNPO

三島、沼津両市の境界にある止水域「松毛川」を守るため、三島市のNPO法人「グラウンドワーク(GW)三島」は二〇一九年、同市御園の右岸の私有地約三千平方メートルを購入する。募金や環境保護団体からの支援により購入のめどが立った。

松毛川は総延長一・三キロで、昭和初期の狩野川の堤防工事の本流から切り離されてきた。ごみの投棄などによる環境悪化や風害による倒木で、河畔の森が消滅する恐れが出てきたため、GW三島が二〇〇七年から放置竹林の伐採や清掃といった保全活動をしている。

購入する土地にはケヤキやムクノキなど樹齢百年以上の巨木が百三十本ある。

グラウンドワーク三島が購入を進める松毛川右岸の私有地。三島市御園で



土地取得は保全管理しやすくするのが狙い。GW三島は昨年募金を行い二百万円を集めたほか、日本ナショナル・トラスト協会と自然保護助成基金から計二百二十九万円の支援を受けることになり、土地を購入できる見通しとなった。一九年一月から地権者と交渉に入る。

渡辺豊博専務理事は「土地を買い取ることと責任をもって持続可能な管理体制をつくりたい」と話す。
(佐久間博康)